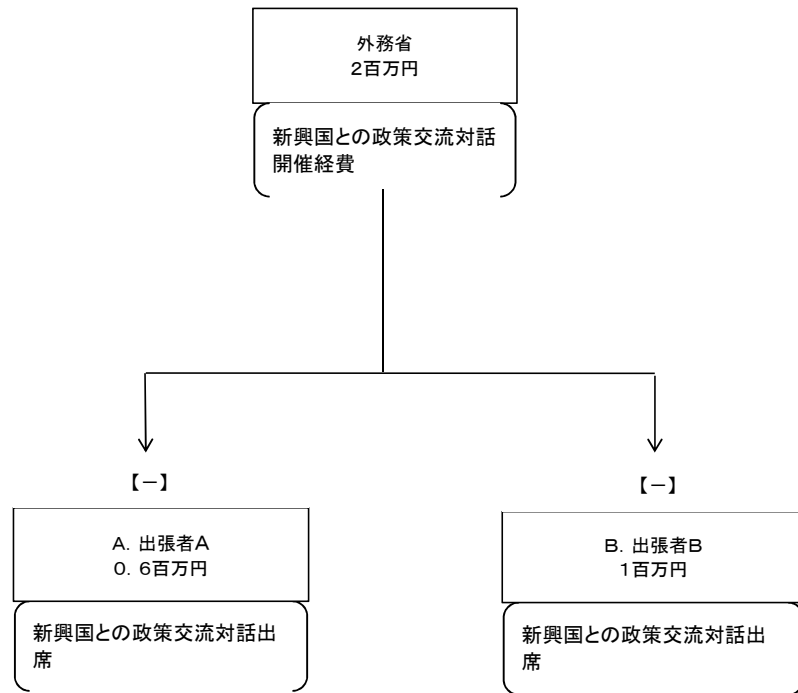


平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	新興国との政策交流対話開催経費	担当部局庁	総合外交政策局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度	担当課室	政策企画室	室長 中村 亮				
会計区分	一般会計	施策名	Ⅱ－1 国際の平和と安定に対する取組					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	外務省設置法第4条第1項 外務省組織令第31条第2項	関係する計画、 通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	(平成22年度まで) 著しい経済発展を背景として近年国際社会における影響力を強め、我が国が「戦略的グローバル・パートナー」として重視するインドの外務省との間で、トラック1. 5会合(政府関係者及び民間有識者が参加する会合)を毎年開催することを通じて、インドの対外政策の予見可能性を高め、双方の中長期的な外交政策の企画立案に活用し、更なる協力関係の進展につなげる。 (平成23年度以降) インドのみならず、ブラジル、南アフリカ等、著しい経済成長を背景として近年国際社会における影響力を強めており、我が国が今後関係を強化すべきと考えられる新興国の外交担当部局及び民間有識者との間で意見交換(トラック1. 5)を実施し、これらの新興国の対外政策の予見可能性を高め、以て我が国の中長期的な外交政策の企画立案、及び我が国と新興国との間の協力関係の進展につなげる。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	総政局幹部が、インドを始めとする新興国の外務省政策企画部局との間で民間有識者を交えたトラック1. 5を開催する。同会合を通じて、両国間で既存の政府公式見解にとらわれず、様々な問題につき中長期的な観点から幅広く自由に意見交換を行っている。							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予 算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	1	1	2	2	2	
	執行額		1	0	2			
	執行率(%)		79.8	0	106.5			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	新興国の外交担当部局及び民間有識者との間で意見交換を行うことを通じて二国間関係を活発化し、以て二国間全体の関係維持・強化に繋げる。直接的な成果実績提示は困難だが、参考となる指標として、日印間の貿易額を記載する(暦年)。		成果実績	億円	13,628	9,391	12,884	
			達成度	%				
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	インドをはじめとする新興国との間で有識者を交えた官民戦略対話(トラック1. 5)を年1回実施。		活動実績 (当初見込み)	回	1	0	1	1
単位当たり コスト	1, 711, 300(円/回)		算出根拠	単位当たりコスト＝官民戦略対話開催経費1,711,300円/開催回数1回				
平成23 (単位:千円) 年度予算内訳	費 目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	職員旅費(外国)	783	793					
	文化人等派遣旅費(外国)	777	787					
計	1,560	1,580						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本件は、政府関係者に加え有識者を交えた意見交換を行う点が特徴であり、その効果は他の政府間協議とは異なるユニークなものであると考える。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成22年度はインドにおいて本件政策対話を開催し、政府関係者及び有識者の間で多岐にわたる外交課題について活発な意見交換が行われ、極めて有意義であった。今後も早期の発券手続きをすること等により、予算の効率的な執行を図ることとしたい。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	－		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
－			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について記載する。費 目と使途の双方で実情が分かる ように記載)	A.出張者B			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	旅費	出張者B(航空賃、日当宿泊料)	1			
	計		1	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. 出張者A

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	新興国との政策交流対話出席旅費	0.6	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B. 出張者B

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者B	新興国との政策交流対話出席	1	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					